

2022年7月導入

新幹線メンテナンス東海株式会社 様

1 導入に至る経緯

新幹線メンテナンス東海株式会社様は、JR東海・東京駅における遺失物取扱業務を担っており、日々大量に届くお忘れ物の管理に大変苦慮されていました。

1日に取り扱うお忘れ物の数は約400件。

それらのうち約3割は持ち主にお渡しすることができていますが、携帯電話をはじめお土産物や傘など、類似したものが多く、正確かつ迅速にお客さまにお渡しすることが課題となっていました。



わからない

- ・探す際の社員の負担が大きい
- ・お客様対応の遅れ

2 選定理由

- ・社員が正確かつ迅速にお忘れ物を発見できる
- ・保管されているお忘れ物が容易に把握できる
- ・イノベーション推進の一環として



わかる

- ・探す手間を軽減
- ・社員の負担軽減
- ・お客様対応の向上

3 導入後

お忘れ物にUHFタグをつけ、データベース登録。アプリ画面とハンディターミナルの鳴動音でおおよその位置を確認。UHFタグのLED部が光ることで対象のお忘れ物を特定。

このアプリ・LED付UHFタグの導入により、大量かつ類似するお忘れ物の中から、いち早く対象のものを見つけることが可能となり、サービス向上に大きく貢献しました。

4 今回の事例でのポイント

今回の事例は、

「探す手間を削減したい」「社員の負担軽減」というご要望でした。

新幹線メンテナンス東海株式会社様では、イノベーション推進の取り組みで『機械がやれることは機械に、人にしかできないことは人が』を積極的に推進されています。

その取り組みにお応えすべく、**UHF帯RFIDタグを使用した資産探索システムを導入**させていただきました。

【導入担当者様コメント】

新幹線メンテナンス東海(株) 旅客事業部 担当者様

『弊社からの依頼に対して、テスト機の開発から現場での試行を実施しました。試行により得られた社員の意向・要望を取り入れて頂き、社員の会社施策への参画意識向上や弊社のイノベーション推進につながり、大変満足しています。』



新幹線メンテナンス東海株式会社

(SHINKANSEN MAINTENANCE TOKAI CO.,LTD)

所在地：東京都中央区日本橋3-1-17 日本橋ヒロセビル5F

設立：1999年4月 従業員数：2,036人（2022年6月現在）

事業内容：東海道新幹線車両・駅・事務所等の整備

駅出改札業務など鉄道運輸業務・駅遺失物取扱及び旅客介助業務、その他

URL：https://www.smt-jp.co.jp